

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年4月30日

上場会社名 株式会社宇徳 上場取引所 東
 コード番号 9358 URL https://www.utoc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田邊 昌宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 古山 貴一 (TEL) 045-201-6583
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	54,271	△8.0	2,836	△16.3	3,100	△16.1	2,423	△1.8
2019年3月期	58,979	5.6	3,391	5.5	3,694	7.8	2,468	4.3
(注) 包括利益	2020年3月期 2,215百万円 (0.9%)		2019年3月期 2,194百万円 (△14.5%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	56.03	—	7.4	6.9	5.2
2019年3月期	57.07	—	8.0	8.6	5.7
(参考) 持分法投資損益	2020年3月期 13百万円		2019年3月期 1百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	45,521	33,677	73.8	777.11
2019年3月期	44,332	31,981	72.0	737.98
(参考) 自己資本	2020年3月期 33,607百万円		2019年3月期 31,915百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,186	△3,975	△678	3,417
2019年3月期	3,152	△1,651	△636	3,882

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	518	21.0	1.7
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	518	21.4	1.6
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—		—	

(注) 現時点では2021年3月期の連結業績予想を未定としているため、次期の配当につきましても未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想は未定といたします。業績予想につきましては、事態の推移を注視し、算定可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	43,448,099株	2019年3月期	43,448,099株
② 期末自己株式数	2020年3月期	200,858株	2019年3月期	200,786株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	43,247,259株	2019年3月期	43,247,350株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	39,146	△1.9	1,133	△31.2	1,260	△32.7	1,090	△7.3
2019年3月期	39,907	1.4	1,646	△13.4	1,872	△20.5	1,176	△28.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	25.21	—
2019年3月期	27.20	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	35,275		22,928		65.0	530.18		
2019年3月期	33,950		22,584		66.5	522.22		

(参考) 自己資本 2020年3月期 22,928百万円 2019年3月期 22,584百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想は未定といたします。業績予想につきましては、事態の推移を注視し、算定可能となった時点で速やかに開示いたします。詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、米中通商問題の激化を発端とする中国経済の減速傾向が今後の世界経済の先行きを不透明なものにしていましたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、経済の停滞感が急速に強まっています。消費税率引き上げや自然災害の多発にもかかわらず、良好な雇用環境に支えられ、個人消費、国内需要など、基調としては緩やかな成長を続けてきたわが国経済も、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への大きな影響が出始めており、移動制限に伴う生産・投資活動の減速が顕著になっています。

京浜港（東京港・横浜港）全体の外貿コンテナ取扱量およびわが国の完成車輸出総台数は減少しました。また、自然災害によりサプライチェーンに大きな影響を受けた建設機械の輸出も前年を下回りました。

セグメント別の経営成績は次のとおりとなりました。

上段：営業収入 下段：経常損益

(単位：百万円)

セグメントの状況	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	増減額	増減率
港湾事業	23,428	21,673	△1,755	△7.5%
	2,142	2,105	△37	△1.7%
プラント・物流事業	35,012	32,126	△2,885	△8.2%
	1,438	831	△607	△42.2%
その他	538	471	△67	△12.5%
	114	164	50	44.1%

① 港湾事業

一部の港湾倉庫で作業契約が終了した他、当社の取扱コンテナ量、完成車および建設機械のいずれもが減少に転じたことから、事業全体では前期比で減収となりましたが、各種作業における効率化を図り、また料金の改定による収益向上努力の結果、利益は微減にとどまりました。

② プラント・物流事業

プラントは海外におけるプラント組立工事完工で実績を積み上げましたが、国内再生可能エネルギー発電建設工事で、納期確保のために対処した結果、採算を悪化させました。物流は料金の改定により収益を改善し、工場設備やプラント輸送においても実績を積み上げましたが、事業全体では前期比で減収減益となりました。

③ その他

自社ビル等不動産の賃貸等があります。

以上の結果、当連結会計年度の営業収入は54,271百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は2,836百万円（同16.3%減）、経常利益は3,100百万円（同16.1%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、賃貸不動産である芝浦シーバンスビル（東京都港区）の共有持分を売却したこと等による固定資産売却益621百万円を特別利益に計上したことから、2,423百万円（同1.8%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は45,521百万円となり、前年度末比1,188百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び営業未収入金が1,016百万円、投資有価証券が477百万円減少した一方、現金及び預金が494百万円、関係会社短期貸付金が1,181百万円、有形固定資産が1,028百万円増加したことによるものです。

負債は11,843百万円となり、前年度末比507百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び営業未払金が605百万円、未払費用が116百万円、その他流動負債のうち未払金が252百万円減少した一方、未払法人税等が83百万円、リース債務（固定負債）が246百万円増加したことによるものであります。

純資産は33,677百万円となり、前年度末比1,696百万円の増加となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が230百万円減少した一方、利益剰余金が1,904百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は3,417百万円となり、前年度末に比べ464百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は4,186百万円（前年度は3,152百万円の収入）となりました。これは主に経常利益3,100百万円の計上、非資金項目である減価償却費1,695百万円、営業債権の減少1,088百万円により資金が増加した一方、法人税等の支払1,019百万円、営業債務の減少668百万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,975百万円（前年度は1,651百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、有形固定資産の売却による収入338百万円、無形固定資産の売却による収入719百万円、投資有価証券の償還による収入200百万円及び定期預金の払戻による収入325百万円であり、主なマイナス要因は有形固定資産の取得による支出3,056百万円、無形固定資産の取得による支出128百万円、定期預金の預入による支出1,284百万円及び短期貸付金の増加額1,181百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は678百万円（前年度は636百万円の支出）となりました。主なマイナス要因は、配当金の支払額518百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	72.7	72.0	73.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	48.4	55.0	50.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.1	0.2	0.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	360.3	266.0	161.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務諸表により計算しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債（リース債務を除く）を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大が当事業領域に及ぼす影響を現時点で見通すことができないため、2021年3月期の連結業績予想を未定といたします。業績予想につきましては、事態の推移を注視し、算定可能となった時点で速やかに開示いたします。

<次期の配当>

上記「今後の見通し」に記載のとおり、現時点では2021年3月期の連結業績予想を未定としているため、次期の配当につきましても未定といたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内を主軸として事業展開を行っており、また、当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は日本基準で作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,212,844	4,707,022
受取手形及び営業未収入金	11,885,709	10,869,480
貯蔵品	67,007	73,419
関係会社短期貸付金	9,444,056	10,625,953
その他	1,088,137	1,487,858
貸倒引当金	△112,000	△120,915
流動資産合計	26,585,755	27,642,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,560,894	19,640,194
減価償却累計額	△16,655,216	△15,762,508
建物及び構築物(純額)	3,905,677	3,877,685
機械装置及び運搬具	12,033,310	12,990,745
減価償却累計額	△9,485,875	△10,031,459
機械装置及び運搬具(純額)	2,547,435	2,959,286
工具、器具及び備品	1,474,815	1,543,752
減価償却累計額	△1,194,729	△1,220,747
工具、器具及び備品(純額)	280,086	323,004
土地	2,606,988	3,074,332
リース資産	647,924	800,832
減価償却累計額	△408,514	△317,621
リース資産(純額)	239,410	483,210
建設仮勘定	1,046,109	937,084
有形固定資産合計	10,625,707	11,654,603
無形固定資産		
借地権	1,699,457	1,535,744
のれん	314,293	219,098
その他	329,286	409,043
無形固定資産合計	2,343,037	2,163,886
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,132	1,733,400
長期貸付金	666,000	444,000
繰延税金資産	1,070,631	1,160,573
その他	1,270,854	1,151,433
貸倒引当金	△440,179	△429,302
投資その他の資産合計	4,778,438	4,060,104
固定資産合計	17,747,184	17,878,595
資産合計	44,332,940	45,521,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,008,821	4,403,514
短期借入金	659,100	697,210
1年内返済予定の長期借入金	27,360	21,839
リース債務	123,918	119,389
未払法人税等	572,085	655,277
未払費用	445,888	329,451
賞与引当金	801,565	732,930
役員賞与引当金	75,334	46,600
その他	1,235,555	989,721
流動負債合計	8,949,629	7,995,935
固定負債		
長期借入金	20,519	—
リース債務	153,437	399,718
繰延税金負債	3,164	19,602
役員退職慰労引当金	184,203	253,951
退職給付に係る負債	2,767,194	2,839,191
資産除去債務	55,805	56,522
その他	217,985	279,028
固定負債合計	3,402,310	3,848,016
負債合計	12,351,939	11,843,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,300	2,155,300
資本剰余金	330,659	330,659
利益剰余金	28,237,737	30,142,429
自己株式	△30,527	△30,564
株主資本合計	30,693,169	32,597,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792,667	562,017
為替換算調整勘定	488,374	494,167
退職給付に係る調整累計額	△58,628	△46,171
その他の包括利益累計額合計	1,222,413	1,010,013
非支配株主持分	65,417	69,626
純資産合計	31,981,000	33,677,463
負債純資産合計	44,332,940	45,521,415

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収入	58,979,372	54,271,941
営業費用	46,981,749	43,066,527
営業総利益	11,997,622	11,205,413
販売費及び一般管理費	8,606,387	8,368,564
営業利益	3,391,234	2,836,849
営業外収益		
受取利息	40,169	62,535
受取配当金	74,721	76,054
受取賠償金	60,445	885
持分法による投資利益	—	13,005
受取賃貸料	41,774	35,169
助成金収入	7,290	9,861
スクラップ売却益	48,890	5,847
為替差益	—	31,290
その他	69,421	56,796
営業外収益合計	342,712	291,445
営業外費用		
支払利息	10,822	26,350
契約解約損	7,708	650
為替差損	12,113	—
その他	8,631	479
営業外費用合計	39,275	27,481
経常利益	3,694,671	3,100,813
特別利益		
固定資産売却益	80,545	621,824
投資有価証券売却益	—	62,028
投資有価証券清算益	17,205	—
災害保険金収入	—	27,302
特別利益合計	97,750	711,155
特別損失		
減損損失	39,103	176,782
固定資産除売却損	22,774	17,094
ゴルフ会員権売却損	281	2,323
ゴルフ会員権評価損	10,324	—
災害による損失	—	60,485
特別損失合計	72,483	256,685
税金等調整前当期純利益	3,719,938	3,555,283
法人税、住民税及び事業税	1,141,849	1,135,325
法人税等調整額	110,076	△3,360
法人税等合計	1,251,925	1,131,965
当期純利益	2,468,012	2,423,318
親会社株主に帰属する当期純利益	2,468,012	2,423,318

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,468,012	2,423,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118,490	△230,649
為替換算調整勘定	△147,804	10,001
退職給付に係る調整額	△7,130	12,456
その他の包括利益合計	△273,425	△208,191
包括利益	2,194,586	2,215,126
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,195,352	2,210,918
非支配株主に係る包括利益	△765	4,208

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,155,300	330,659	26,202,198	△30,491	28,657,667
当期変動額					
剰余金の配当			△432,473		△432,473
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,468,012		2,468,012
持分法の適用範囲の変動			—		—
自己株式の取得				△36	△36
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,035,538	△36	2,035,502
当期末残高	2,155,300	330,659	28,237,737	△30,527	30,693,169

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	911,157	635,413	△51,497	1,495,073	66,183	30,218,924
当期変動額						
剰余金の配当						△432,473
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,468,012
持分法の適用範囲の変動						—
自己株式の取得						△36
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△118,490	△147,039	△7,130	△272,660	△765	△273,425
当期変動額合計	△118,490	△147,039	△7,130	△272,660	△765	1,762,076
当期末残高	792,667	488,374	△58,628	1,222,413	65,417	31,981,000

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,155,300	330,659	28,237,737	△30,527	30,693,169
当期変動額					
剰余金の配当			△518,967		△518,967
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,423,318		2,423,318
持分法の適用範囲の変動			341		341
自己株式の取得				△36	△36
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,904,691	△36	1,904,654
当期末残高	2,155,300	330,659	30,142,429	△30,564	32,597,824

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	792,667	488,374	△58,628	1,222,413	65,417	31,981,000
当期変動額						
剰余金の配当						△518,967
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,423,318
持分法の適用範囲の変動						341
自己株式の取得						△36
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△230,649	5,793	12,456	△212,399	4,208	△208,191
当期変動額合計	△230,649	5,793	12,456	△212,399	4,208	1,696,463
当期末残高	562,017	494,167	△46,171	1,010,013	69,626	33,677,463

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,719,938	3,555,283
減価償却費	1,741,367	1,695,625
減損損失	39,103	176,782
のれん償却額	95,194	95,194
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12,724	86,985
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△46,457	69,748
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,009	△68,651
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,763	△28,737
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	109,352	△1,960
受取利息及び受取配当金	△114,891	△138,590
支払利息	10,822	26,350
持分法による投資損益 (△は益)	—	△13,005
固定資産除売却損益 (△は益)	△57,771	△604,730
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	281	2,323
ゴルフ会員権評価損	10,324	—
受取賠償金	△60,445	△885
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△62,028
投資有価証券清算益	△17,205	—
災害保険金収入	—	△27,302
災害による損失	—	60,485
営業債権の増減額 (△は増加)	△2,526,562	1,088,685
営業債務の増減額 (△は減少)	1,205,438	△668,953
未払又は未収消費税等の増減額	54,751	36,822
その他の資産の増減額 (△は増加)	38,553	△11,165
その他の負債の増減額 (△は減少)	167,458	△124,779
その他	5,584	△23,924
小計	4,354,342	5,119,574
利息及び配当金の受取額	114,167	121,882
利息の支払額	△11,851	△25,904
法人税等の支払額	△1,364,471	△1,019,199
賠償金の受取額	60,445	885
災害保険金の受取額	—	24,267
災害による損失の支払額	—	△34,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,152,632	4,186,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,183,292	△3,056,644
有形固定資産の売却による収入	236,155	338,657
無形固定資産の取得による支出	△60,767	△128,234
無形固定資産の売却による収入	—	719,927
投資有価証券の取得による支出	△46,640	△19,992
投資有価証券の売却による収入	—	66,812
投資有価証券の償還による収入	—	200,000
投資有価証券の清算による収入	46,205	—
定期預金の預入による支出	△330,724	△1,284,300
定期預金の払戻による収入	329,631	325,294
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	379,563	△1,181,896
長期貸付けによる支出	△23,919	△13,701
長期貸付金の回収による収入	19,026	18,962
その他の支出	△86,443	△38,292
その他の収入	70,185	77,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,651,019	△3,975,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	15,010
長期借入金の返済による支出	△27,360	△29,120
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△177,279	△146,329
配当金の支払額	△431,614	△518,268
その他	△35	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△636,289	△678,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,191	2,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	804,131	△464,873
現金及び現金同等物の期首残高	3,077,988	3,882,119
現金及び現金同等物の期末残高	3,882,119	3,417,245

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当連結会計年度の期首より、一部の在外子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしております。

当該会計基準の適用に伴い、当連結会計年度末において、リース資産（純額）が248,193千円、流動負債のリース債務が4,950千円、及び固定負債のリース債務が248,993千円それぞれ増加しております。なお、当連結会計年度の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「貸付けによる支出」及び「貸付金の回収による収入」は、キャッシュ・フローの実態をより適切に表示するため、当連結会計年度より「短期貸付金の純増減額（△は増加）」、「長期貸付けによる支出」及び「長期貸付金の回収による収入」へ区分して表示することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「貸付けによる支出」に表示していた△11,252,857千円及び「貸付金の回収による収入」に表示していた11,627,528千円は、「短期貸付金の純増減額（△は増加）」379,563千円、「長期貸付けによる支出」△23,919千円及び「長期貸付金の回収による収入」19,026千円として組み替えております。

前連結会計年度において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の支出」に含めていた「無形固定資産の取得による支出」は重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他の支出」に表示していた△147,211千円は、「無形固定資産の取得による支出」△60,767千円、「その他の支出」△86,443千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社の構成単位に分類された財務情報に基づき、事業活動のセグメントから構成され、「港湾事業」及び「プラント・物流事業」の2つを報告セグメントとしております。

「港湾事業」は、港湾運送作業、ターミナル作業及び港湾関連作業を行っております。

「プラント・物流事業」は、一般貨物の輸送及び取扱業、貨物保管荷捌及び通関業、並びに大型機械・機器等の輸送据付、保繕作業及び構内作業まで多岐に亘り事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の取引は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	港湾事業	プラント・ 物流事業	計				
営業収入							
外部顧客への営業収入	23,428,958	35,012,041	58,440,999	538,372	58,979,372	—	58,979,372
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	717,235	716,390	1,433,626	130,933	1,564,560	(1,564,560)	—
計	24,146,194	35,728,431	59,874,626	669,306	60,543,932	(1,564,560)	58,979,372
セグメント利益	2,142,212	1,438,317	3,580,530	114,141	3,694,671	—	3,694,671
セグメント資産	10,472,552	29,741,072	40,213,624	2,116,692	42,330,317	2,002,623	44,332,940
その他の項目							
減価償却費	548,079	1,086,163	1,634,242	107,124	1,741,367	—	1,741,367
受取利息	10,726	28,005	38,731	1,438	40,169	—	40,169
支払利息	418	10,353	10,772	50	10,822	—	10,822
持分法投資利益	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	274,435	2,227,536	2,501,971	96,739	2,598,711	—	2,598,711

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産2,002,623千円であります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 3	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	港湾事業	プラント・ 物流事業	計				
営業収入							
外部顧客への営業収入	21,673,816	32,126,786	53,800,602	471,338	54,271,941	—	54,271,941
セグメント間の内部 営業収入又は振替高	964,577	681,655	1,646,233	160,933	1,807,166	(1,807,166)	—
計	22,638,393	32,808,441	55,446,835	632,272	56,079,108	(1,807,166)	54,271,941
セグメント利益	2,105,132	831,260	2,936,393	164,420	3,100,813	—	3,100,813
セグメント資産	10,424,483	31,045,318	41,469,802	1,721,864	43,191,666	2,329,748	45,521,415
その他の項目							
減価償却費	434,303	1,169,120	1,603,424	92,201	1,695,625	—	1,695,625
受取利息	11,188	49,759	60,947	1,587	62,535	—	62,535
支払利息	435	25,864	26,300	50	26,350	—	26,350
持分法投資利益	—	13,005	13,005	—	13,005	—	13,005
持分法適用会社への投資額	—	56,818	56,818	—	56,818	—	56,818
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	602,816	1,911,742	2,514,559	372,713	2,887,273	—	2,887,273

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。
 2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
 3. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産2,329,748千円であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	737.98 円	777.11 円
1株当たり当期純利益	57.07 円	56.03 円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,468,012	2,423,318
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,468,012	2,423,318
普通株式の期中平均株式数(株)	43,247,350	43,247,259

(重要な後発事象)

該当事項はありません。